【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【公開番号】特開2003-111524(P2003-111524A)
【公開日】平成15年4月15日(2003.4.15)
【出願番号】特願2001-307988(P2001-307988)
【国際特許分類第７版】
　Ａ０１Ｇ　 9/14
　Ａ０１Ｇ　13/02
【ＦＩ】
　Ａ０１Ｇ　 9/14　　Ｈ
　Ａ０１Ｇ　13/02　　Ｊ

【手続補正書】
【提出日】平成16年8月18日(2004.8.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
【実施例】
（比較例１，参考例１及び実施例１）
　下記組成の樹脂組成物を用いて、０．１５ｍｍ厚の農業用ポリオレフィン系フィルム（試験フィルム）を作成し、下記の実験を行った。尚、この試験では単層のフィルムを用いたが、多層のポリオレフィン系基体フィルムの両面に、塗布膜を形成したポリオレフィン系農業用フィルムにおいても、本試験と同様の結果であることを確認している。
（樹脂組成）

ポリエチレン樹脂	１００重量部
ベンゾフェノン系紫外線吸収剤	０．１５重量部
ヒンダードアミン系光安定剤	０．５重量部
ハイドロタルサイト系保温剤	５重量部

　上記試験フィルムを用いて、１）受けレールの内側底面に両面粘着テープを貼付し、第１のフィルムの端部を粘着テープで貼付し、第２のフィルム端部を重ねた後、その上をスプリングで固定した試験片（比較例１）、２）受けレールの上に第１と第２のフィルム端部を重ねてスプリングで固定したのみの試験片（参考例１）、３）受けレールの内側底面に両面粘着テープを貼付し、第１のフィルムを貼付し、第２のフィルム端部を重ねた上を、アルミ製の保護カバーで覆い、スプリングで固定した試験片（実施例１）、の３試験片を用意し、促進耐候性試験機にて、３０００時間に至るまで、それらのフィルムを曝露し、外観で劣化の程度を観察した。